

# 八千代台まちづくり協議会

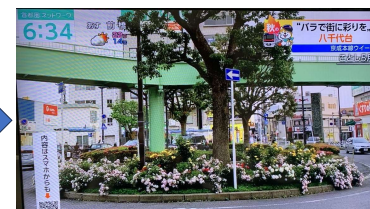
八千代台が「より良いまち」なることを目指し、自分たちでできることから取り組んでいます。

## ◎ ばらを育てませんか。

八千代台駅周辺に300本以上育てています。

NHKにて**放映**されました

2024年10月9日 首都圏ネットワーク



# ◎ バイオ炭を使って土壌改良と 温暖化対策を考えませんか。

ばらの剪定枝や伐採した竹からバイオ炭を作り、土壌改良材として使用します。同時に炭素の土壌への貯留を増やすことができるので、温暖化対策になります。

バイオ炭の作り方（無煙炭化器による方法）



原理



炭化器



炭化完了

ステップ	項目	実施内容	写真備考/予定
	ばらの剪定	2023年2月11日 三角花壇、東ローター及びエルム前のばら（165本）の剪定を実施した。剪定枝の量は、ボランティア袋に11袋だった。	  剪定前 剪定後
2	剪定枝の乾燥	2023年2月19日 里山ロック隊の活動場所の一角をお借りし、乾燥を始めた。	  剪定枝 11袋 乾燥エリアに剪定枝
3	炭化の練習	2023年6月5日 伐採竹をバイオ炭にしました。約90Lのバイオ炭ができました。 炭化器はM100 直径98cm X 高さ34cm	  炭化器をセット 細い竹から燃焼   太い竹を燃焼 炎が出なくなるまで燃焼   水をかけて消火 バイオ炭の完成
4	剪定枝のバイオ炭化	2023年12月10日 (里山ロック隊活動場所にて実施しました)	  枯らしたばらの剪定枝を炭化器に... できたばらのバイオ炭
5	バイオ炭をバラ花壇に混入	2024年1月13日 植栽した一部のばらの根元に混入しました。	  ばらの根元にバイオ炭を混入 拡大写真



## 4パーミル・イニシアチブとは

4パーミル・イニシアチブとは、世界の土壌表層の炭素量を年間4パーミル増加させることができれば、人間の経済活動などによって増加する大気中の二酸化炭素を実質ゼロにすることができるという考え方で、農業分野から脱炭素社会の実現を目指す取り組みです。

「パーミル (‰)」とは「パーセント (%)」の10分の1の単位で、4パーミルは1000分の4、パーセント (%) では0.4%に相当します。

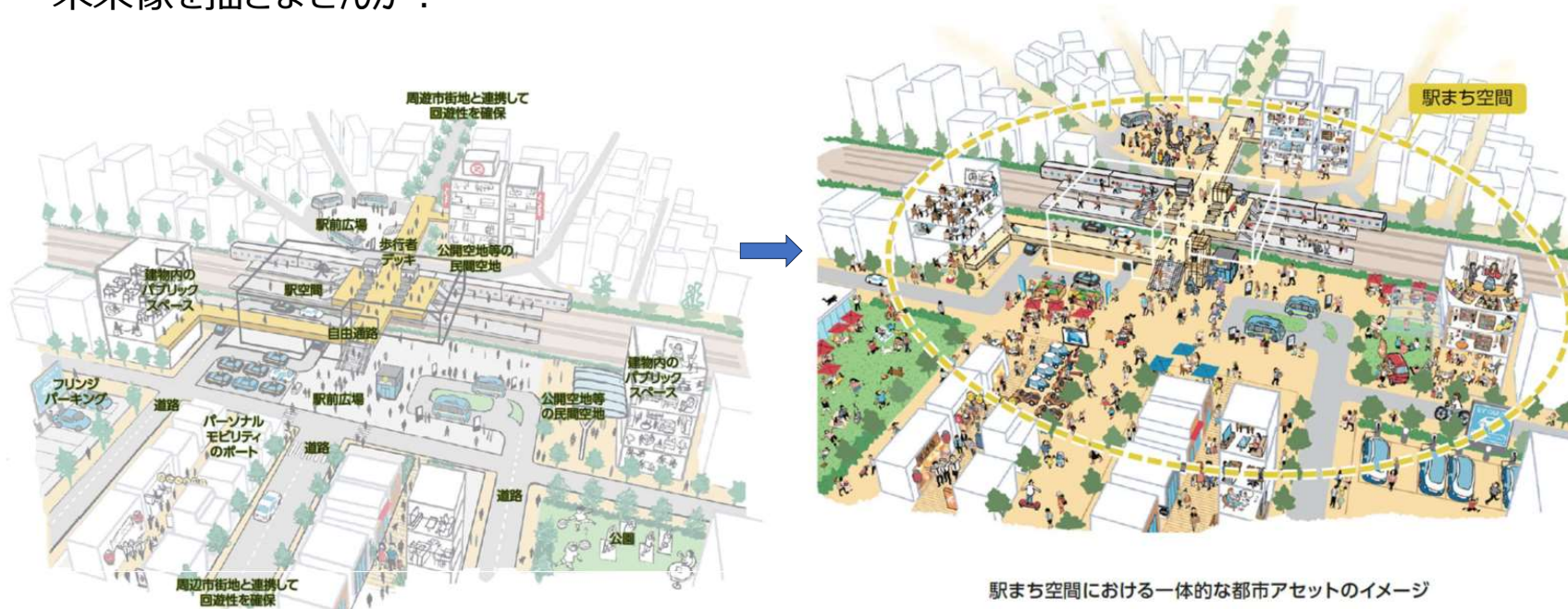


2015年のCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）においてフランス政府が主導で提唱し、2022年12月現在で、日本を含む744の国や国際機関などが参画しています。

山梨県は2020年4月に、国内の地方自治体として初めて参加しました。

## ◎ 八千代台駅周辺の「まちづくり」をいっしょに考えませんか？

車中心から「人」が中心の安全で快適、そして多くの人々の交流を促進するような駅周辺の未来像を描きませんか？



## ◎ 「まちづくりのアイデア」を話し合い、できることから取り組みませんか。

毎月第2と第4木曜日の夜7時から八千代台公民館で、自由にまちづくりのアイデアを話し合い、出来る事から取り組んでいます。